

森下清鶴 書 作品展

平和 への 灯



森下氏が綴った詩の朗読会を開催!!
作品とともに詩に思いを馳せましょう

2026年

9月17日(木)

▶ 10月12日(月・祝)

休館日：9月28日(月)、10月5日(月)

会場：はつかいち美術ギャラリー 第1、第2、第3展示室

主催：(公財)廿日市市芸術文化振興事業団、中国新聞社

協力：(NPO法人)ANT-Hiroshima、石河真理

(NPO法人)ワールド・フレンドシップ・センター

(有)ピカソ画房

後援：廿日市市、廿日市市教育委員会

はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号

(廿日市市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあに併設)

TEL.0829-20-0222 FAX.0829-32-7160 <https://www.hatsukaichi-csa.net/gallery/>



ホームページをチェック!!

観覧無料

10:00~18:00
(最終入館は17:30まで)

はつかいち美術ギャラリーで検索

はつかいち平和美術展 第30回記念



森下清鶴 書 作品展

はつかいち美術ギャラリーでは、開館以来、美術作品を通して平和について考える「はつかいち平和美術展」を開催しています。

第30回目となる令和8年度は地元書家による「森下清鶴 書 作品展」を開催します。

森下氏は1945(昭和20)年8月6日、広島県立広島第一中学校3年生のとき、爆心地から1.5キロの鶴見橋西詰で学徒動員による建物疎開作業中に被爆しました。当時のことを「あまりにも熱くて巨大な溶鉱炉に投げ込まれたようだった」と語っています。大火傷を負い、治療後も顔や首に残るケロイドは、「目に見えるトラウマ」となって森下氏をずっと苦しめ続けます。

「書をやれ。芸は身を助ける。その容姿を恥じるのではなく、心の清い人になればいいんだよ。」 そう言ってケロイドに悩む森下氏を父が慰めてくれたといいます。心の清い人になればいい…。それから、書道の習得、文学や詩、短歌と内面的なものを追求するようになりました。

森下氏は広島県立高校の書道教諭となり、平和教育に力を入れ、国内外で被爆証言を行ってきました。本展では、書家として原爆をテーマにした詩を書に表した作品をはじめ、高校教諭時代に生徒へ配布した平和教育資料などを展示し、森下氏の歩みと平和への思いを紹介します。



～森下清鶴作品朗読会～

日時：9月27日(日) 13:00～(約1時間)

会場：第2展示室

参加費：入場無料

出演：ひろしま朗読の会

佐藤 千佳砂

鈴木 弘子(廿日市市在住)

田熊 信子(廿日市市在住)



ノーマア ヒロシマ

1974年

はつかいち美術ギャラリー 所蔵



長年にわたる被爆体験の証言と平和教育活動の功績がたたえられ、2025年1月に授与されたベスタロッチ賞のブロンズを特別に展示！

次回展覧会のご案内

廿日市市美術展

2026.10.21(水)～11.1(日)※月曜休館

交通案内

■広電宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅から徒歩7分

■JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩15分

はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号

(廿日市市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあに併設)

TEL 0829-20-0222 FAX 0829-32-7160

SNS配信中！
フォロワー大募集！

